

つなげて語る、緑内障治療！ ～点眼薬&手術～



座長



相原 一 先生
(東京大学)

座長のことば

人生100年時代と言われるようになり、目の健康寿命を延ばすことが注目されています。

中でも、日本の失明原因の一位である緑内障においても、その進行軽減により生涯視機能を維持したいものです。

今回の学会テーマである「ここまで見える、ここから魅せる」になぞらえて、緑内障治療のうち、中倉先生には点眼治療について、稲谷先生には手術治療について、“ここまで見えていること”と“ここから魅せれること”を、つなげて語っていただきます。

先生方の今後の緑内障診療の一助となり、より多くの患者さんの目の健康寿命を延ばすために、保つためにお役に立てれば幸いです。

講演Ⅰ

中倉 俊祐 先生
(ツカザキ病院)



「まとめて解説！ 緑内障点眼薬の
見える、見えざる副作用」

講演Ⅱ

稲谷 大 先生
(福井大学)



「まとめて解説！
緑内障手術最新ラインナップ」